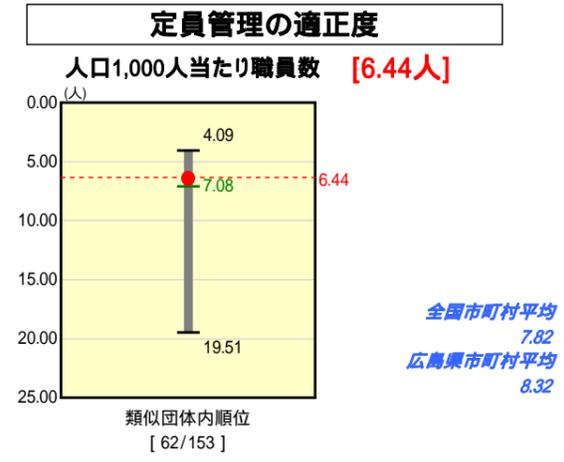
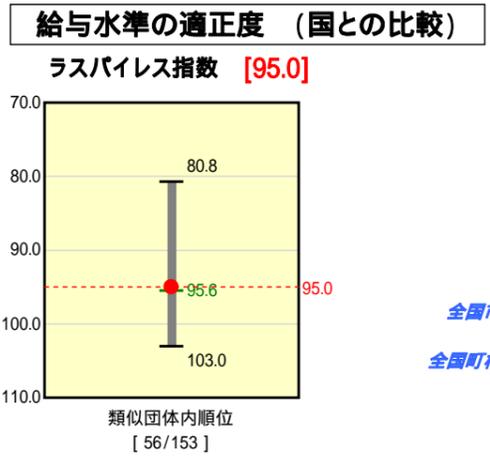
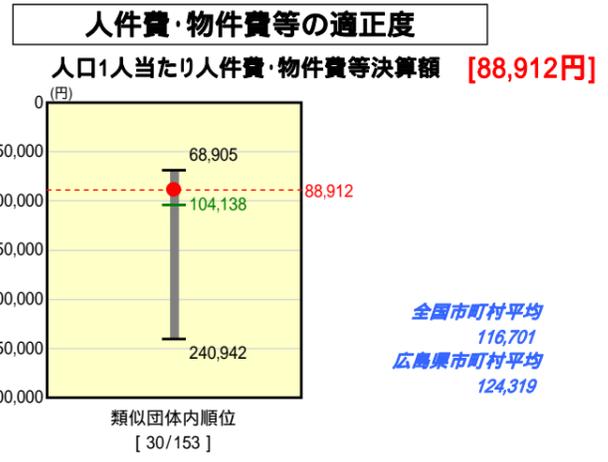
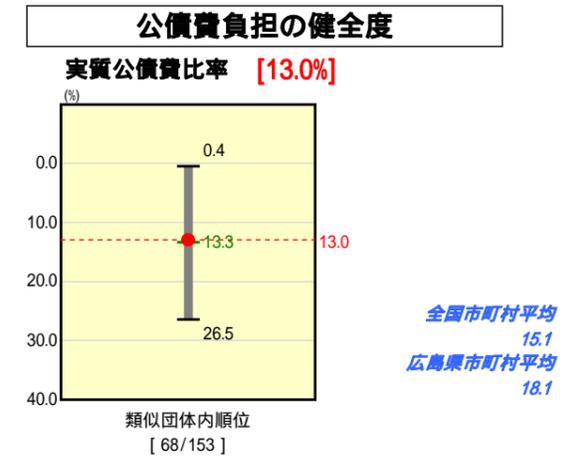
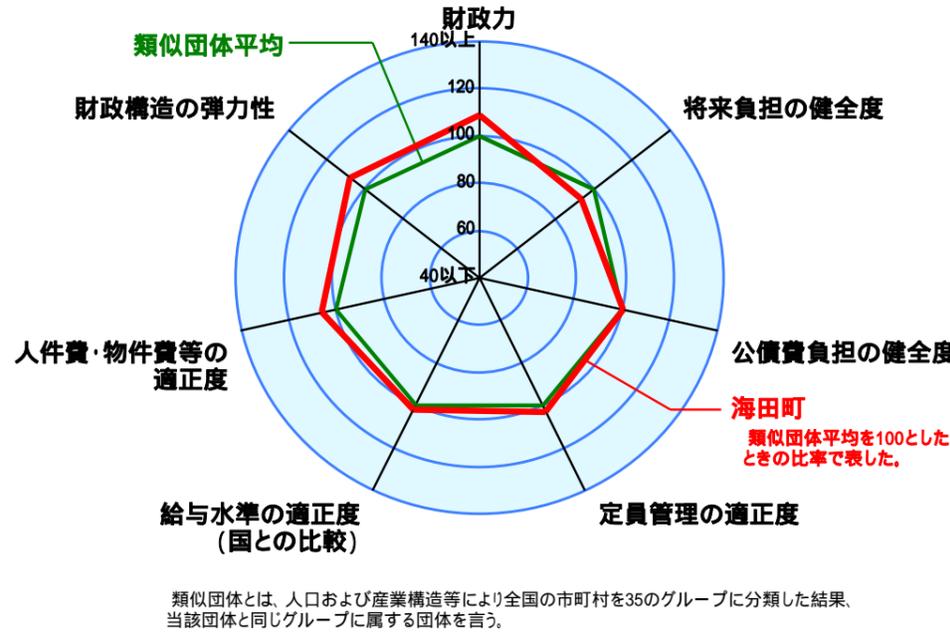
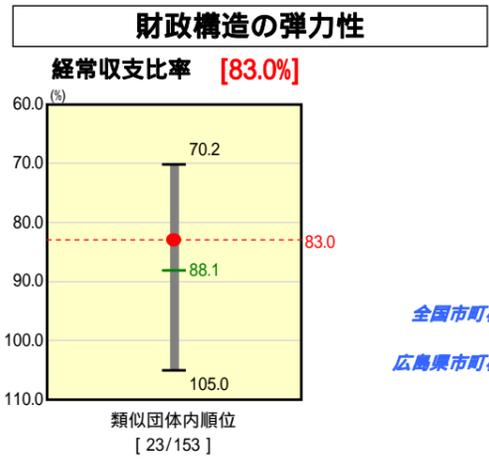
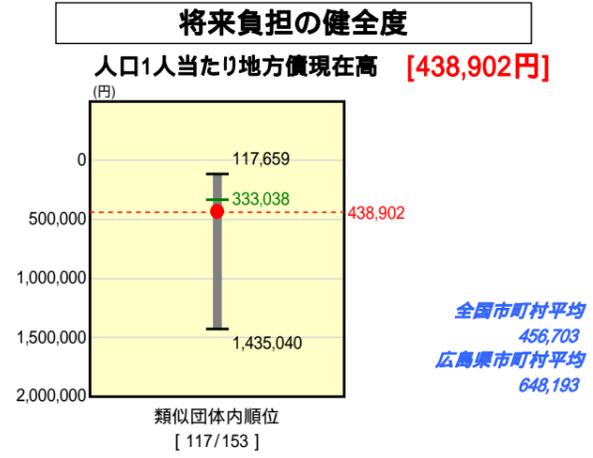
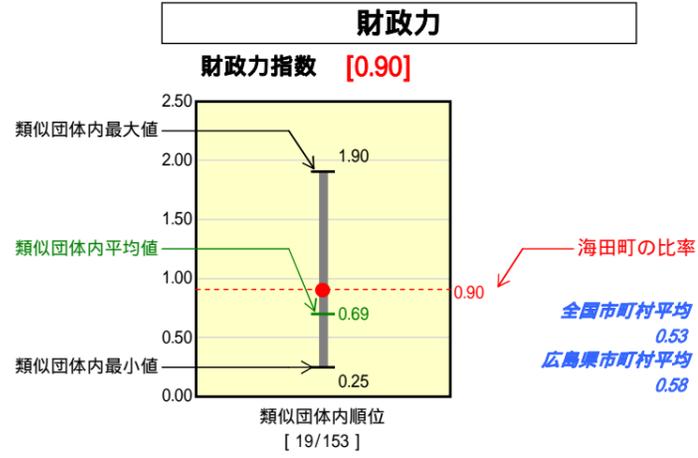


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 広島県 海田町

人口	28,113	人(H19.3.31現在)
面積	13.81	km <sup>2</sup>
歳入総額	7,799,339	千円
歳出総額	7,572,427	千円
実質収支	173,920	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
類似団体平均を上回っており、18年度決算での自主財源比率は64.3%となっている。引き続き、収税対策室を中心として、税の徴収率の向上に努める。

**【経常収支比率】**  
公債費の増はあるものの、退職者補充調整による人件費の減や、町税の増による経常一般財源の増などにより、類似団体平均より良好な結果となった。引き続き、経常経費の抑制に努めるとともに、町税を中心とした経常一般財源の確保に努める。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
退職者補充調整による人件費の抑制や内部管理経費の削減、事務事業の見直しなどに取り組むことにより、1人当たりの費用が類似団体平均と比べて低い結果となった。今後も更なる行財政改革を進め、抑制を図っていく。

**【ラスパイレス指数】**  
国水準よりも低く、類似団体平均とほぼ同数となっており、引き続き適正な給与体系を図っていく。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
「将来負担の健全度」のみが、類似団体平均より低い結果となっており、ここに本町の財政上の課題があるといえる。町債残高を縮減し公債費負担をどれほど低減化できるかが今後の財政健全化の鍵となることから、17年度に引き続き町債発行を抑制しプライマリーバランスの黒字を図るとともに繰上償還を実施したことにより、前年度比較では18,603円、4.1%の減となっている。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均とほぼ同率となっているが、公債費の増加に伴い前年度の11.1%に比べて2.9ポイント数値が悪化している。対策として17年度に引き続き、任意の繰上償還を実施し、また、町債の借入れの際は据置期間を短縮することにより、公債費負担の平準化を図るとともに、利子償還額の削減効果を挙げている。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
これまでの退職者不補充の取組みなどにより、類似団体平均を下回っている。今後も、定員管理の適性化を進めていく。